



- 3つのKを達成しよう
- 活躍しよう
- 基礎・基本をしっかり身に付けよう
- 健康な心と体を育てよう

新年、明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひいたします。

今日から新学期が始まります。この冬休みは、生徒の皆さんにとってどのような冬休みだったのでしょうか。元気に過ごせましたか。もしかしたら体調を崩してしまった人もいたのかもしれません。

冬休み中に大きな事故やトラブルの報告はなく、学校に皆さんの明るい笑顔と元気な挨拶が戻ってきて、とてもうれしく思っています。

今年は、午年。「午」は十二支（じゅにし）の7番目で、動物のウマがあてはめられています。古代、「ウマ」は生活の要であり、活力・行動力・前進・情熱等を表しています。また、物事が発展し「ウマくいく」と、縁起の良い年ともされています。活力のある午年にふさわしく、令和8年が柳瀬中学校の皆さんにとっても、幸多き1年となるよう願っています。

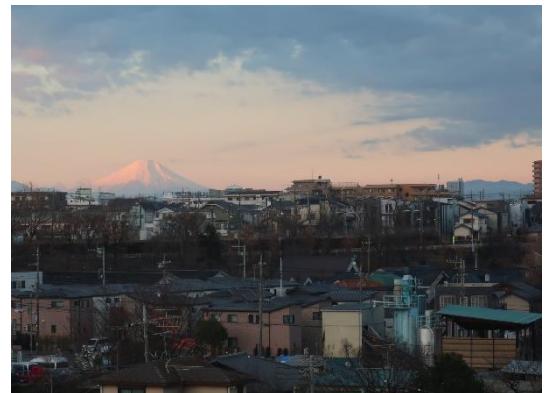
元日の朝、初日の出が見たくて柳瀬中学校に来ました。

全体的には晴れていましたが、東の空のそれも下の方にだけ黒い雲がかかり、柳瀬中学校で初日の出を見ることはできませんでした。黒い雲の隙間から漏れる真っ赤な日の光に、雲の向こうでは今まさに太陽が顔を出しているのになると、残念で仕方ありませんでした。

そんな思いをもちらながら何気なく振り返ると、明るく照らされた西の空の下、富士山や秩父の山々が、遠く鮮やかに映っていました。初日の出が見られないことにがっかりした後だっただけに余計に印象的で、年の始まりが祝福されているように感じられました。

緋色に染まる山々の姿は、

「秩父嶺はるか 玉と映えて … ひらけゆくや 希望の朝空 ああ われらに力あり」という校歌の歌詞通りでした。



柳瀬中学校は、昭和22年に開校しました。今年がちょうど創立80周年となります。その間、時代は昭和から平成、令和へと移ろいました。しかし、校歌にある通り、80年経っても変わることなく幾重にも尾根を重ねる秩父の山々。一方で、少しずつ変遷しながら、今もこの場所に建つ柳瀬中学校の校舎や校庭。新春の穏やかな日差しの中、こうした景色を見ていて、世阿弥の「初心忘るべからず」という言葉が思い浮びました。

柳瀬中学校にとっての初心は、「活躍しよう 基礎基本をしっかり身に付けよう 健康な心と体を育てよう」という学校教育目標です。私達教職員一同、子供達の中にこうした力を育てられるよう、気持ちも新たに力を尽くしてまいります。新しい年も、保護者の皆様、地域の方々のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今、柳瀬中学校では、来年度の計画を立てています。その計画の基本になるのが生徒数となります。正確な生徒数の把握が適切な令和8年度の計画につながります。転出（転居）予定がありましたら、できるだけ速やかに、担任または学校（教頭）へ連絡をお願いします。